

奥飛騨・高原川 秋色の沢上(ツリ)谷へ

H29.10.8 (日)

メンバー：ヤマメ L、磯部 S、杉浦、設楽 (記)

タイム：入渓点 (8 時) ～五郎七郎滝 (8:50) ～岩洞滝 (10:10) ～蓑谷大滝 (12時) ～橋終了点 (14:40) ～入渓点 (16:15)

今年最後の沢締め、美しいと評判の沢上谷へいってきました。



前日 20:45 に集合し、出発。道の駅上宝にテントを張り、プチ宴会後に仮眠をとる。

翌日 6 時起床、入渓点まで車を走らせ、県道 89 号の橋から奥に入った所に駐車し、8 時出発。

5 年前にヤマメさん達が来たときは、橋近くで通行止めとなっていて、入渓点まで 1 時間ほど歩いたそう。今回は電話で確認してくださり、無事通れるということでした。



最初からナメ床が現れ、歓声。

今回は時間的にもゆとりのある沢山行だったので、地図読みの練習もさせて頂けることに。

私と杉浦さんで地図を見ながら先頭を歩かせてもらうも・・・

さっそく一つ目の五郎七郎滝への入り口を見逃し、ヤマメさんが笛を鳴らし、呼び戻される。



私たちがスルーした二俣のポイント。

👉右岸から巻いて、奥に進みます

この先とっても雰囲気の良い苔むした道を進む。



👉そして現れた五郎七郎滝。スラブの上を走る水の流れが美しいです。

でもツルツルだから、もし滑ったらと思うとちょっと怖い。

お次は岩洞滝目指します。磯部さん曰くエンジェルフォールとな。

そんな素敵な呼び名をもらうとは、いったいどんな滝ぞ？と現れた滝にまた歓声が上が

る。
日本らしからぬ空間が現れた。(じゃあどこだ？ってツッコミはなしで)



後ろの赤い岩壁がさらにこの滝を引き立てている。

今日いくつか通った滝のなかで一番気に入った滝。

エンジェルフォールのネーミングに一同納得。

滝の裏を通れるというのも面白い。ちょっとした冒険気分だ。



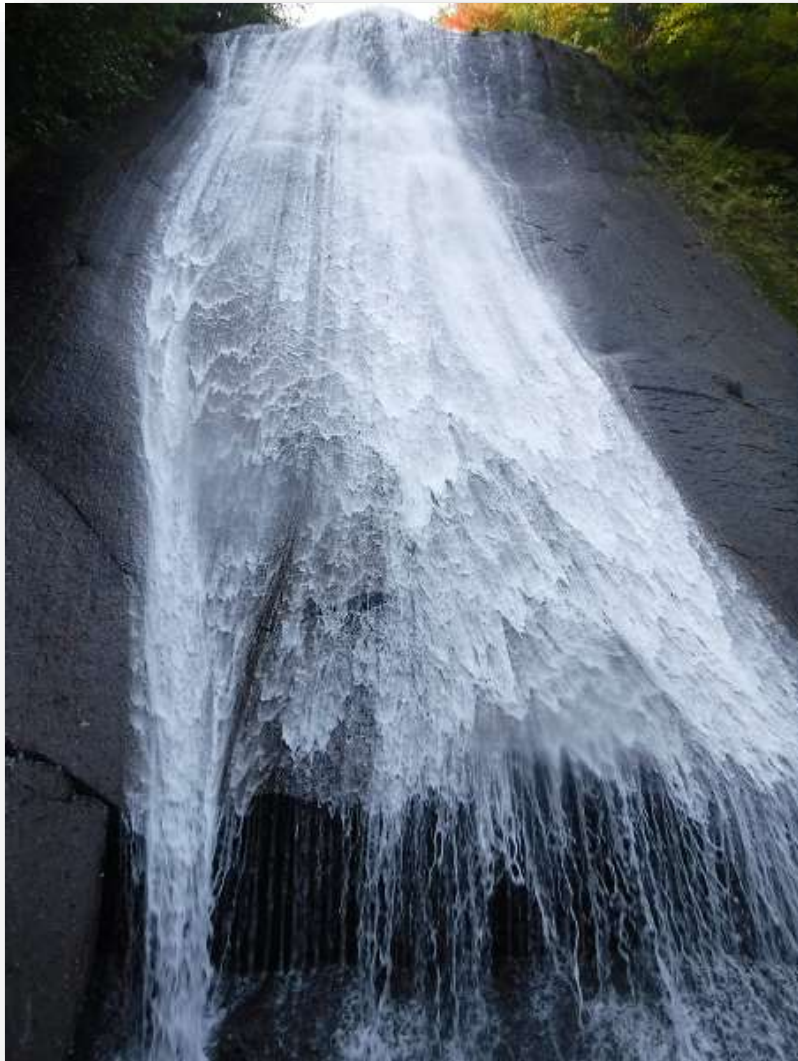


ポーズを決める磯部さん。
私には面白いポーズとれ
って言ったのに、
めっちゃキメキメ・・・

この滝が、あまりに素敵で
この滝を見て一句・・・な
んて皆でやりつつ、ゆっく
り堪能しました。
この滝は一見の価値あり
です。



岩に張りついた美しい苔、地衣類の世界も見始めると止まりません・・・



まるでコンクリートのように滑らかな岩盤の上を流れる蓼谷大滝。

マイナスイオン出まくりで、寒いです☆

滝は避けて、左岸から巻きます。踏み跡もあります。上に上がってしまった後、滝の落ち口へ戻るのに、なかなか急な下りだったので、磯部さんがロープを出して、懸垂。傾斜がきつくない箇所まで1ピッチ降りました。補助ロープもあり。

この滝を巻くのに、45分ほどかかりました。そして落ち口の上流部に出たところで、滝の落ち口を覗いてみようということに。磯部さんにロープで確保されながら、滑らかなスラブの上をヤマメさんが進んでいきます。見てるこっちがヒヤヒヤ。しかしロープが届かず、戻ってきました。



お茶目なヤマメさんと、やっぱりキメポーズの磯部さん。葉っぱが秋色。

最後の滝を終えたところで、今回は磯部さんから粋な計らい。

お湯を沸かして、温かいコーヒーを頂きます。

美味しかったー♪

さらに続くナメ床（沢上谷はナメ床天国）をずっと進み橋に行きついたら、沢の終了点。

あとはてくてく県道89号を歩いて戻ります。

難しい箇所もなく、距離も長くないので、沢初めにオススメかも。

この沢に行ったら、沢登りが好きになるのでは？と思わせるいい沢でした。

帰りのお風呂は「ひらゆの森」へ寄るも、大混雑。

夕飯は高山市街に寄り、ラーメン屋で高山ラーメンと飛騨牛串焼きを頂きました。

癒し沢山行で今年の沢締めとなりました。